

地域医療の現場から

患者様が病院を受診するのは何故でしょうか。「困った、辛い」という症状に対して、原因を診断してもらい、適切な治療を受けて症状を取り除くためだと思われれます。

この一連の流れの中に「検査」があります。検査には採血や検尿等の臨床生化学的検査、心電図等の生理学的検査、画像診断検査があります。画像診断検査を担当する科



セコムメディック病院
放射線科 部長

が放射線科です。胸部X線検査を始めとして、バリウム検査、超音波検査、そして最近ではCT検査、脳疾患には欠かせないMRI検査、がんの診断に用いられるPET検査など沢山の種類があります。検査の範囲も、頭のとつぺんから足の爪先まで全身のあらゆる

放射線科医の役割とは

臓器に及びます。疾患によって検査部位・検査法が異なるので、患者様にできるだけ負担のかからない有効で確実な画像診断法を選び、安全かつ有用に検査を進めていくことが必要になります。

この画像診断検査のプロが放射線診断医です。画像を解析・解読(読影)して診断結果を作り、担当医に報告し、病気の診断や重症度など大切な情報の提供を行います。また医師からの画像への問合せに対応し、各科との

合同カンファレンスで放射線診断医の立場から意見を述べることも仕事です。

放射線科医は日本では地味なイメージのようですが、米国ではあらゆる画像検査の知識を駆使して診断をする「Doctors for Doctors」(医師のた

めの医者)と呼ばれています。放射線をあてて治療する専門の放射線治療医も、がん治療の一翼を担っております。医療の現場は医師だけではなく、看護師、薬剤師、技師、事務職など、様々な職種から成り立っています。また医師も然りで、内科・外科医などのテレビドラマで主役になっている科だけでなく、色々な科の医師が連携して医療を行っているのです。

医療講演会

「画像診断とは？」
～腹部CT、MRIを中心に～

12月2日(水) 14時/イオン千葉ニュータウン/
講師：野口雅裕医師/無料
/予約不要/TEL 457-9900